

花き技術が認められ 見事受賞

令和4年度花き品評会

令和4年度花き品評会の表彰式が6月17日、熊本県経済農業協同組合連合会7階ホールで開催されました。その中で、府内隆男さん(高尾野)が令和3年熊本県花き協会会長賞、金賞、農林水産省関係部門九州農政局長賞の3つの賞を受賞しました。この品評会は品種の特性、草姿、経営への取り組みなどを総合的に審査するものです。今回、府内さんの花き業界への長年の取り組み、効率の良い栽培方法、各花の特性を十分に生かした品質管理などが評価されました。



受賞おめでとうございます

園児が学校探検

幼小連携の交流活動

陣内幼稚園の園児と大津南小学校の1年生が交流活動として「学校探検」を6月17日に行いました。1年生が園児の手を引いて学校の中を案内し、前回行った交流の「一緒に遊ぼう」から2回目の交流となりました。「ここは保健室だよ。怪我したら手当をしてもらえるよ」とすすんで学校のことを園児に紹介する1年生の姿も見られました。交流後、園児は「優しく教えてもらってうれしかった。また小学校に行きたい」と学校の生活を楽しく学びました。



1年生のお兄ちゃん、お姉ちゃんに小学校で使っている部屋や勉強で使っている道具を教えてもらいました

「チーム大津」で連携強化

企業誘致等に関する意見交換会を開催

町内の金融機関・不動産関係者と企業誘致に関する意見交換会を6月3日に開催しました。この意見交換会は、台湾積体回路製造(TSMC)の隣町への進出を受け、町にも企業立地の相談が増加しているため、民間の企業立地動向や専門的な意見などを町の企業誘致に生かすことを目的としています。今後、申請に基づき、民間の協力者を企業誘致パートナーとして委嘱し、町への助言や政策提案などで連携を行いながら、「チーム大津」として協働した企業誘致を進めていきます。



町内企業の15社から21人が参加しました

くまもと花博の輝きを再び

翔陽高校農業系列(園芸・造園)の生徒が庭園を展示

翔陽高校農業系列(園芸・造園)の3年次生の生徒たちが役場正面玄関前の広場に庭園を設置しました。これは、5月22日まで熊本市で開催されていた第38回全国都市緑化フェアくまもと花とみどりの博覧会に展示していた作品を移設したものです。展示は、8月中旬までを予定しています。生徒の加藤舜貴さんは、「花博に行けなかった人や大津町の人たちに、授業で学んできた集大成をぜひ見てもらいたいです」と話しました。



翔陽高校農業系列(園芸・造園)の3年次生の生徒が造った作品と生徒たち

願いごとと叶うといいな七夕飾り

大津音楽幼稚園が七夕飾り寄贈

大津音楽幼稚園の園児が6月23日、オークスプラザを訪れ、園児の願いが叶った七夕飾りを寄贈しました。子どもたちは、自分たちで考えた願いごとを短冊に書き、笹に付け飾りを作りました。七夕飾りの寄贈は20年以上続く夏の恒例行事となっています。短冊には「走るのが速くなりたい」や「ケーキ屋さんになりたい」など、ほほ笑ましい願いごとが書かれています。大津音楽幼稚園の七夕飾りは、オークスプラザとおおづ図書館、大津郵便局にも寄贈されています。



七夕飾りを届けてくれた園児たち

田植えを通じて「食」を学ぶ

ネットワーク大津(株)の田植え体験

ネットワーク大津(株)による田植え体験が6月29日に開催されました。陣内幼稚園・いちご保育園・緑ヶ丘保育園・大津南小学校5年生が参加しました。これは、近隣の幼稚園・保育園・小学生に田植えの体験を通して食べ物の大切さを学んでもらうことを目的に同社が10年以上行っている事業です。田植えの後は、毎年恒例の泥んこ遊びをし、田んぼ中に子どもたちの喜ぶ声が響き渡っていました。子どもたちは「泥の中に入るのが楽しかった。またやりたい」と田植えを楽しんでいました。



田植えの体験をした後に、泥んこ遊びをしました

お米を作って、地下水を育む

(公財)くまもと地下水財団の水田オーナー制度

水田オーナー制度の田植えが6月11日、真木地区で実施されました。これは、農業体験を通じて、水田が地下水を育み、地下水保全を行うことを目的とした(公財)くまもと地下水財団が行っている事業です。水田オーナー参加の田植えは3年ぶりの開催となり、県内の企業や団体、家族など110人が田植え体験を行いました。同財団事務局長の勝谷仁雄さんは、「昨今の情勢を受けて、熊本の地下水に注目が集まっています。この活動を通じて環境について興味を持って欲しい」と語りました。



田植えの体験を通じて「自然」を肌で感じていました

町の企業が若者を求めています!

町企業連絡協議会による「大津町企業ガイダンス」

民間企業へ就職を希望する翔陽高校3年次生を対象に「大津町企業ガイダンス」が6月17日、開催されました。今年で4回目の開催となる今回は、製造業や運送業、サービス業など19社の企業が参加しました。各教室に企業ブースを設置し、企業の担当者が仕事風景や自社の商品を見せながら、業務内容や企業理念、地元企業で働く意味などを説明しました。参加した生徒からは「仕事を選ぶ際に大事なことを教えてもらえて良かった」と社会人として働くイメージなどを膨らませていました。



企業について真剣に学ぶ生徒たち